



大崎市議会議員

ゆうびん

# さとう仁一 友便

後援会だより

平成30年1月号

地域に寄り添う、人と人を結ぶ

皆様の声を市政につなげます。ご意見などお気軽にお聞かせください。

## さとう仁一 連合後援会

〒989-6442 宮城県大崎市岩出山字下金沢154-1 TEL:0229-72-4560 携帯:080-1855-3888  
✉ jinichi422@yahoo.co.jp URL http://jinichi-sato.jimdo.com/

議会報告 くわじり「議員の議会活動を報告します」



平成29年第3回大崎市議会定例会は、9月12日から10月6日までの25日間開催され、予算案5件、人事案3件、報告6件、工事請負契約締結4件、その他議案1件及び議員提出議案4件が審議されました。さらに、平成28年度の一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定1件と企業会計決算認定2件、その他1件が提出され、決算特別委員会を設置して審査を行った結果、全議案とも可決及び認定するものとして決定いたしました。

平成29年第4回大崎市議会定例会は、12月7日から12月21日までの15日間開催され、平成29年度各会計の補正予算、育児休業等の一部改正などの条例、指定管理者の指定などの議案を審議し、原案のとおり可決決定いたしました。

さとう仁一議員は、総務常任委員長として、大崎市図書館の建設進捗及び開館準備状況、地域公共交通問題、岩出山地区五小学校統合及び新岩出山小学校開校準備状況、測量設計業務に関する入札状況、放射性物質汚染廃棄物処理に関する陳情関係など、精力的な調査運営を行ってまいりました。

以下、議会定例会における一般質問の要旨、提言を報告いたします。



### 第3回議会定例会の質問要旨

#### 大崎市の平均寿命・健康寿命は県平均以下。

#### 口腔歯科と一般医科の有機充実を！

大崎市は、平均寿命・健康寿命ともに宮城県平均を下回っています(表1)。県内最高の町と比較すると、約3歳〜5歳の差があります。

延伸向上のために、個人での日常生活における心がけは基本ではありません。加えて現在は、とりわけ口腔歯科の市民検診の充実が必要であり、一般医科との有機的連携に向けて努力すべきと考えます。

まずは、合併前の古川市時代からの歯科衛生士2名体制を見直し、人口14万人の市民生活に対応するべく、増員充実を図り、幼児期から高齢世代まで、切れ目ない健康寿命延伸に官民協働で取り組む体制整備の強化を図るべきです。

〈表1〉

寿命	男性		女性	
	平均寿命	健康寿命	平均寿命	健康寿命
県平均	80.95	79.43	87.43	84.13
大崎市	79.81	78.38	87.00	83.86
県内最高	84.55 (山元町)	82.36 (山元町)	90.96 (大衡村)	86.97 (七ヶ宿町)
最高との差	4.74	3.98	3.96	3.11

平均寿命…死因にかかわらず、生まれてから死までの時間  
健康寿命…健康上の問題がない状態で、日常生活を送れる期間

- 掲載以外の一般質問項目
- 地域産業振興のための人材育成と人材確保策を問う
- 医療用ウィック・補正用具費用助成などを問う

### 第4回議会定例会の質問要旨

#### 総合支所機能と本庁機能の連携調整などの総合評価を！

田尻、鳴子の両総合支所建替えや本庁市役所建設が具現化している今、多くの市民の方々は、本庁と総合支所の機能分担が明確化しないまま計画・建設規模が進んできたことに不安を感じております。

現状の総合支所機能と本庁機能の連携などの総合評価をしっかりと行い、旧市・町の地域づくりと、大崎市全体のまちづくりのバランスあるマネージメント力が、今後の総合支所の統治機能に求められ、存在感が増します。

#### 地域資源活用型の多極定住生活圏を！

大崎市が推進している「コンパクトシティ+ネットワークづくり」の中で、コンパクトシティづくりが先行し、ネットワークづくりはその次であるとするならば遺憾です。合併時の市民の方々の目指した新大崎市は、住み慣れたところで均衡ある発展を願って合併を選択したのです。これは大切にしたい理念です。

#### 掲載以外の一般質問項目

- 水田農業政策改革が及ぼす30年産以降の本市産業振興計画への影響と施策の転換を問う
- 世界農業遺産など(土木遺産・世界灌漑遺産)の認定による地域教育・観光振興への行動計画を問う

■大志会メンバーとともに世界農業遺産認定を祝う

